

# 教育研究業績書

2020年10月27日

所属：建築学科

資格：助教

氏名：中村 優花

研究分野	研究内容のキーワード
建築意匠・歴史	仏教建築史、中央アジア、シルクロード、文化財
学位	最終学歴
博士	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. イタリア バフチェシヒル大学における海外実習	2019年2月19日～2019年3月2日	2008年12月に締結したトルコ・バフチェシヒル大学との間の一般交流協定に基づき、バフチェシヒル大学と共同で実習の企画をし2019年2月19日(火)から3月2日(土)の12日間、イタリアのローマ、フィレンツェなどを拠点に、修士2年生11名の引率を行い、保存修復関連の実務訓練を行った。実習前には修士の学生が実習先の建築物について調査・発表をする、ゼミを実施したことにより、古代ローマ建築、初期キリスト教建築、ルネサンスおよびバロック建築についてより深く学べるよう指導した。毎日の実習の様子は、ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。また、実習終了後に実習の報告書を各学生が作成するよう指導し、トルコ・バフチェシヒル大学に送付し、実習の成果を伝えた。
2. イタリア バフチェシヒル大学における海外実習	2017年2月18日～2017年3月2日	2008年12月に締結したトルコ・バフチェシヒル大学との間の一般交流協定に基づき、バフチェシヒル大学と共同で実習の企画をし2017年2月18日(月)から3月2日(木)の13日間、イタリアのローマ、フィレンツェなどを拠点に、修士2年生10名の引率を行い、保存修復関連の実務訓練を行った。実習前には修士の学生が実習先の建築物について調査・発表をする、ゼミを実施したことにより、古代ローマ建築、初期キリスト教建築、ルネサンスおよびバロック建築についてより深く学べるよう指導した。毎日の実習の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。また、実習終了後に実習の報告書を作成し、トルコ・バフチェシヒル大学に送付し、実習の成果を伝えた。
3. 建築設計総合演習 III , 建築設計総合演習 B「課題1: 歴史的遺跡の鞘堂」	2016年4月19日～現在	パレスチナにある初期イスラム建築ヒシャム宮殿Hisham's Palaceの遺構を風雨などの自然環境から保護し、その保存・展示・見学に寄与するための覆屋を企画・設計する課題において、ヒシャムパレスやその他のウマイヤ朝期の建築の特長についての講義スライドを作成した。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. トルコ文化研究センター研究会	2017年2月15日～現在	トルコ文化研究センター主催の研究会において、配布資料準備や会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。
2. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「シルクロードの文化と建築」	2016年6月4日～現在	本講演会シリーズでは、シルクロードを通して行われてきた、わが国と地中海を結ぶはるかにダイナミックで長い歴史の異文化交流とその文化遺産保護活動について考える。現在は、配布資料準備や、会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。
3. 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター 講演会シリーズ「わが国の近代 建築の保存と再生」	2016年5月14日～現在	国登録有形文化財指定を受けた甲子園会館（旧甲子園ホテル）を大学の校舎として、また建築学科の教材として活用していることから、本講演会シリーズでは、豊かな都市環境の在り方について考える。現在は、配布資料準備や会場設営、HP原稿作成などの運営を担当。
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
1. 中央アジアにおける仏教寺院建築の空間構成の類型とその変容	単	2019年3月	武庫川女子大学大学院 博士学位論文	それぞれの地域には、固有の文化や宗教があり、それらはそれぞれに固有の図像を持っている。文化の交流により、空間と図像の関係は、他の文化に影響され、変容する。本論文では、「仏教寺院の建築空間」とそこに見られる「図像と空間の関係」が、どのような系譜によって生まれ、変容したかを、文献(邦文)調査により明らかにすることを目的とした。中央アジアにおける地上および石窟寺院とそれに影響を与えたと考えられる諸建築物についてのデータ収集を行い、諸分類・分析を行うための他の文化や宗教の建築物のデータをまとめ、データベース化した。このデータベースをもとに調査した建築物をとりまとめ、その空間構成を分析し、それを図式化し、空間構成の発展、礼拝対象と建築空間の関係、建築空間と壁画構成の関係について分析・考察を行っている。
2. 仏教寺院に見られる図像と建築空間の東西交流		2016年1月	武庫川女子大学大学院 修士学位論文	
<b>3 学術論文</b>				
1. 中央アジア仏教寺院における祠堂建築の空間構成の類型: 礼拝対象物の配置に着目して (査読付)	共	2018年12月	日本建築学会計画系論文 集, 第83巻, 第754号, pp. 2441-2451	中村優花, 岡崎甚幸 中央アジアにおける仏教寺院の祠堂建築を、建築学の立場から網羅的に考察し、その平面形態、祠堂内における主要な礼拝対象物(仏塔、仏像)および礼拝対象物の配置に着目して、祠堂建築の空間構成の特徴を分析し、空間構成を類型化した。それを踏まえ、祠堂内で行われた礼拝行為を推測することにより、祠堂建築が持つ空間の意味の変容についても考察を行った。(全文執筆)
2. The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia, Part 1: The Transformation of Stupas (査読付)	共	2017年1月	Institute of Turkish Culture Studies, Inter- cultural Understanding, Volume 6, pp. 31-43	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study focuses on the transformation of main stupas in terms of architectural spatial components based on bibliographic surveys concerning 59 documented Buddhist temple remains (excluding cave temples) in Central Asia. We prepared a database of Buddhist remains, and analyzed the spatial composition of each temple, judging from the extracted spatial components. We divided temples into 4 types based on their spatial composition characteristics: stupas, shrines, monasteries, the other inferior complexes; we created three-dimensional spatial schemas of each type and showed visually presented the spatial compositions of temples and the forms of stupas. (全文執筆)
3. DEVELOPMENT TYPES OF BUDDHIST TEMPLES: CENTRAL ASIA AND XINJIANG UIGHUR (査読付)	共	2016年7月	14th International Conference on Architectural Cultural Interactions through the Silk Road, Selected Papers, pp. 71-77	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This study reports the development types and processes of Buddhist temples in Central Asia and Xinjiang Uighur in terms of their characteristics of architectural spatial compositions, through detailed analyses of 46 ground temples and cave temples from 8 different locations. We compiled a database of Buddhist remains, and analyzed the spatial composition of each temple, judging from the extracted spatial components. These spatial compositions are represented in three-dimensional schemas in order to show them visually. We also made the diagrams to classify Buddhist temples into characteristic patterns and proposed the development types of Buddhist temples based on the following functions: main stupas, monasteries, shrines, shrines with another space (functions), and complexes of a monastery court and a stupa court. As a result of our analysis, it has become clear that ground temples can be roughly divided into 3 types and cave temples can be divided into 5 types. (全文執筆)
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. 祠堂建築の形態と構成要素についての考察: 中央アジア仏教寺院の空間構成	共	2018年8月	2018年度日本建築学会 大会(東北)学術講演 会, 学術講演梗概集 20	中村優花, 岡崎甚幸 中央アジアの地上仏教寺院における祠堂の変容について、文献調査の上、平面、天井、壁の形態に着目

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
2. 中央アジア仏教建築の空間構成要素に着目したクラスター分析による類型化	共	2017年8月	18[建築歴史・意匠], p. 3-4 2017年度日本建築学会大会(広島)学術講演会, 学術講演梗概集 2017[建築歴史・意匠], p. 823-824	して、空間構成を4つの類型に大別した。類型別に、どの構成要素が具体的に追加、除去、踏襲されたかを示した上で、3D図式を用い、変遷を示したフローチャートを作成。これまで文字情報でしか伝達されなかった空間構成の変遷を視覚的な手法で提示した。(全文執筆) 中村優花, 岡崎甚幸 中央アジアにおける仏教建築の空間構成要素に着目して、空間構成と形態的特徴を、クラスター分析を用い類型化した。その結果、対象地域における仏教建築は、地理・年代・機能的要因により2集団に大別することができ、またその下層的分類として、6つの類型が存在することが明らかになった。(全文執筆)
3. 構成要素の有無に着目した中央アジア仏教建築の類型	単	2017年7月	第24回 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会, pp. 185-201	中村優花 地上仏教寺院に見られる構成要素を抽出し、統計ソフトウェアを用いた階層的クラスター分析によって、構成要素の視点から見た仏教建築の類型について考察し、大きく3つの類型に大別、小分類としてさらに7つに分けられると定義し、それぞれの類型について、3D図式をイメージ図として用い、提示した。さらに、寺院の類型と建造(あるいは使用)年代、地理的環境について比較考察を行い、7つの類型と時代的変遷、地理環境との関係を明らかにした。
4. The Transformation of Shrines: The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia, Part 2 (アブストラクトの査読付)	共	2017年11月	ARCHTHEO '17 / XI. International Conference on Theory and History of Architecture, p. 96-111	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI The aim of this study is to propose the transformation and the characteristic form of Buddhist shrines visually in terms of spatial components based on bibliographic surveys concerning 60 documented Buddhist temple remains in Central Asia. The forms of shrines have been divided into 4 types. To do more detailed division, we extracted each component from the shrines, and investigated such as planar form, wall form, roof form, and arrangement method. Based on them, the spatial composition of shrines was classified. According to this classification, we created the 3D schema which shows the form of shrines focusing on the components extracted by each shrine. (全文執筆)
5. The Characteristics of Spatial Composition in Buddhist Temple Remains: Focused on Central Asia and Xinjiang Uighur (アブストラクトの査読付)	共	2016年9月	Proceedings of the 11th ISAIA(第11回アジア建築交流国際シンポジウム), pp. 986-991	This study discusses the transformation of Buddhist temple remains in Central Asia and Xinjiang Uighur in terms of their characteristics of architectural spatial compositions. The characteristics of spatial compositions of ground temples and cave temples are studied and compared. After analyzing the spatial composition of them, those spatial compositions are presented in 3D schemas. Next, architectural languages are extracted as spatial components and included in those 3D schemas. As a result of dividing architectural languages into two categories, "OBJECT" and "SPACE", and carrying out a correlation analysis on the relationship between "OBJECT" and "SPACE". (全文執筆)
6. 仏教寺院の発展の類型: 中央アジアおよび新疆ウイグル自治区を対象として	共	2016年8月	2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会, 学術講演梗概集 2016[建築歴史・意匠], p. 703-704	中村優花, 岡崎甚幸 中央アジアにおける地上寺院、石窟寺院それぞれの空間構成について概観し、空間構成を分類した上で、3D図式を用いて、空間構成の発展の類型を示した。類型化により、中央アジアと新疆ウイグル自治区の地上寺院の空間構成は3タイプに大別できること、石窟寺院の空間構成は5タイプに大別できると考えられる。(全文執筆)
7. HISHAM'S PALACE の浴場の原形の復元模型による検討と内部空間のシミュレーション	共	2016年8月	2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会, 学術講演梗概集 2016[建築歴史・意匠], p. 699-700	川崎祐華, 中村優花, 山口彩, 岡崎甚幸 世界遺産への登録が狙われているパレスチナのHisham's Palace (Khirbat al-Mafjar) の浴場を対象とし、1/10の復元模型を制作し、内部の光環境のシミュレーションを行った。ここでは、複数の小窓から自然光が薄暗い空間に入り、色彩に富んだ床のモザイクタイルに当たって乱反射し、幻想的な空間を作っていることを確認した。(分析に用いた復元模型の制作や、光環境シミュレーション、提出原稿作成を担当。プロジェクトのWEBページ <a href="http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hisham/">http://www.mukogawa-u.ac.jp/~hisham/</a> )
8. DEVELOPMENT TYPES OF BUDDHIST TEMPLES: CENTRAL ASIA AND XINJIANG UIGHUR	共	2016年7月	iaSU2016, Proceedings, pp. 29-32	Yuuka NAKAMURA, Shigeyuki OKAZAKI This paper elucidates the development types of Buddhist temples in Central Asia and Xinjiang Uighur area through bibliographic surveys. Although there have been many smaller studies of Bu

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
9. STUDY OF THE THERMAL BATH WITH IN HISHAM'S PALACE BY UTILIZING A RECONSTRUCTED MODEL AND A SIMULATION OF THE INTERNAL SPACE	共	2016年7月	iaSU2016, Proceedings, pp. 17-20	ddhist temples in these areas, no other study has focused on the entire region. "Development type" is defined as the type of development process with common spatial composition. (全文執筆) Yuka KAWASAKI, Yuuka NAKAMURA, Aya YAMAGUCHI, Shigeyuki OKAZAKI The ruins of Hisham's was believed to have been constructed in the 8th century as the winter resort. The complex consists of the palace, a thermal bath, a mosque, and a fountain pavilion. Apart from the thermal bath, all the buildings were destroyed in an earthquake in 747 A.D While the floor of the thermal bath is lined with elaborate mosaic tiles, being super structure collapsed poses a threat to the tiles because of lack of adequate protection. Thus, a simulation of the original space was used to produce a reconstructed model, which in turn would be used to design a shed capable of protecting the entire mosaic tile floor. (分析に用いた復元模型の制作や、光環境シミュレーション、提出原稿作成を担当)
10. シザーズ型ならびに折板型展開構造の有限要素法に基づく構造解析	共	2016年5月	平成28 年度日本建築学会 近畿支部研究発表会, 56巻, pp. 105-108	田川浩之、杉浦徳利、中村優花、児玉章子、岡崎甚幸 シザーズ型ならびに折板型展開構造の有限要素法に基づく構造解析手法を検討した。シザーズ型展開構造ではピボット、折板型展開構造では折れ線での一軸回転状態を適切な拘束条件を用いることで再現した。また、その手法を用いた解析実施例について述べた。(折板型展開構造の実寸大モックアップの制作、図面作成を担当)
11. DESIGN AND FABRICATION OF ORIGAMI DOME	共	2016年5月	iaSU2016, Proceedings, pp. 202-205	Noritoshi Sugiura, Yuuka NAKAMURA, Hiroyuki Tagawa, Tomoko Uno, Shigeyuki OKAZAKI Origami is representative of a traditional Japanese craft, and is a promising technique for frontier fields. In the architectural field, the folded plate structure has been applied to many long-span roofs, although they are not deployable in common. Graduate school students in the architectural design class at Mukogawa Women's University designed and fabricated a portable and deployable dome with a folded plate structure. In this paper, the following three factors are summarized: design and fabrication process, thermal performance, and structural performance of the dome. (折板型展開構造の実寸大モックアップ制作、図面作成を担当)
12. 阪神電車鳴尾駅におけるモザイクタイル画のデザイン	共	2015年8月	2015年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表会, 学術講演梗概集 2015, pp. 252-253	中村優花, 中野沙耶, 岡崎甚幸, 宇澤善一郎, 猪股圭佑, 森本順子 兵庫県の都市計画事業である「阪神本線西宮市内連続立体交差事業(鳴尾工区)」により、武庫川女子大学の最寄駅である鳴尾駅(下り駅舎)が高架化された。2015年3月に下りホームが完成し、そのプラットフォームに武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課程1年の7名のデザインによる13のモザイクタイル画が設置された。モザイクタイル画の図案制作だけでなく、タイル一つ一つを図案通りに配列し、現場で施工する一段階前の300角シート貼りまでの作業を行った。(全文執筆)
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. Inter Cultural Studies of Architecture (ICSA) in Rome 2016	共	2018年5月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 7, pp. 56-64	トルコ文化研究センターの活動の一環として、イタリア バフチェシヒル大学における海外実習についての活動報告書を作成。
2. The Spatial Composition of Buddhist Temples in Central Asia	単	2017年11月	トルコ・バフチェシヒル大学建築デザイン学内	一般交流協定を結んでいるトルコ・バフチェシヒル大学建築デザイン学部に訪問し、ICSA in JAPANの参加者と、ICSAプログラムを担当する教員の前で、現在の研究内容について英語で発表を行い、研究内容について意見交換を行った。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
3. 中央アジアにおける仏教寺院の空間構成の変遷：建築空間構成要素に着目して	単	2017年1月	2016年度中央アジア遺跡調査報告会，報告6, pp. 29-38	仏教寺院の空間構成の変遷についての研究方法、今後の課題について発表。中央アジアを拠点とした多くの研究者との意見交換を行った。発表の際に作成した配布資料は、報告会の報告書として刊行されている。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. 中央アジアにおける古代仏教建築の構成要素に着目した空間構成の分析	単	2018年4月～ 2018年3月	武庫川女子大学 平成29年度 科学研究費補助金 学内奨励金	
2. 中央アジア仏教寺院における祠堂建築の空間構成の類型：礼拝対象物の配置に着目して（査読付）	共	2018年12月	武庫川女子大学 2018年度 論文投稿助成金	
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			